

## 口述1 身体障害①

日時:2025年7月12日(土)10:30～11:30

会場:B会場

座長:鈴木樹美枝(公立置賜長井病院)

- 01-1 右片麻痺を呈した回復期脳梗塞患者に対しTransfer Packageを活用し、調理動作を獲得した一例  
佐藤孝奎(済生会 山形済生病院)
- 01-2 痙性抑制を目的とした手関節装具が立位バランスに与える影響  
～重度上肢麻痺患者における1症例での検討～  
長岡祐(医療法人篠田好生会 篠田総合病院)
- 01-3 生活内での麻痺手の不使用を認めた事例に対するCO-OPを用いた実践  
秋山大輔(公立高畠病院)
- 01-4 COPMを使用したことで具体的な目標を共有し、独居再開に至った症例  
～麻痺側上肢の使用を目指して～  
佐藤隼人(日本海酒田リハビリテーション病院)
- 01-5 食事の支度の再獲得に関わった症例 ～立位バランスの安定性向上を目指して～  
松浦瑞季(日本海酒田リハビリテーション病院)
- 01-6 装具療法とボツリヌス治療により痙縮改善を図った症例 ～疼痛緩和や自己管理能力の向上を  
目指して～  
本間結子(鶴岡協立リハビリテーション病院)

## 口述2 身体障害②

日時:2025年7月12日(土)10:30～11:30

会場:C会場

座長:高橋 大輝(あづま脳神経外科病院)

- 02-1 橈骨遠位端骨折術後患者に対しLADOC-DRFを用いた一例  
高木峻平(山形市立病院済生館)
- 02-2 橈骨遠位端骨折術後患者における不安軽減と主婦業復帰・家庭内役割再獲得への支援  
森明日香(山形大学医学部附属病院)
- 02-3 MP関節伸展拘縮を呈した患者に対する作業療法の経験  
平井杏実(済生会 山形済生病院)
- 02-4 小指PIP関節の重度屈曲拘縮を伴うDupuytren拘縮症例に対する作業療法の経験  
渡部開斗(済生会 山形済生病院)
- 02-5 箸操作獲得を目指した症例  
小池香珠実(社会医療法人みゆき会病院)
- 02-6 脊髄損傷(頸髄)の事例に合わせた自助具を使用する事で髭剃りまで可能となった事例  
中野祐嗣((一財)南東北福島病院)

### 口述3 老年期障害・研究・教育

日時:2025年7月12日(土)10:30~11:30

会場:D会場

座長:久米裕(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座)

- 03-1 高齢で日中独居の中,自宅での排泄動作自立に至った症例  
鈴木百合子(特別養護老人ホームあづま)
- 03-2 重度障害を呈した長期臥床者の端坐位(背面開放座位)訓練の効果について  
三浦英夫(鶴岡協立リハビリテーション病院)
- 03-3 介護老人保健施設から退所前訪問指導を通して自宅復帰へ繋がられた事例  
長谷川拓也(一般財団法人温知会 介護老人保健施設悠悠)
- 03-4 「養成校における介護予防事業に関する実践報告」~企画段階からサロン発足までの教員と学生の関わり~  
藤井貴(東北保健医療専門学校)
- 03-5 脳血管障害者に関する運転再開にあたってのMOCA-Jとの関連  
齋藤邦(鶴岡協立リハビリテーション病院)
- 03-6 手根伸筋に対する反復末梢磁気刺激は手根伸筋への脊髓相反性抑制を減弱する  
宮崎大(山形県立保健医療大学大学院)

### 口述4 身体障害③

日時:2025年7月12日(土)14:00~15:00

会場:B会場

座長:道又 顕(広南病院)

- 04-1 明確な目標設定により退院後早期に復職した広範囲熱傷の1例  
加賀美開(秋田大学医学部附属病院)
- 04-2 広範な化膿性腱鞘炎を呈した症例に対して多様なスプリント療法併用が有効であった症例  
柴田秀衡(市立横手病院)
- 04-3 手指伸筋腱皮下断裂腱移行術後における減張位テーピングとRelative motion splintの段階的使用  
鳴海直希(弘前記念病院)
- 04-4 重度関節拘縮を呈したギラン・バレー症候群患者の食事動作獲得に向けた介入  
工藤七瀬(御野場病院)
- 04-5 適切なリハビリテーション治療をおこなうために、遊びを取り入れた一例  
小原直之(岩手医科大学附属病院)

## 口述5 身体障害④

日時:2025年7月12日(土)14:00～15:00

会場:C会場

座長:福田 舞耶子(盛岡市立病院)

- 05-1 両眼性複視に対する作業療法介入を実践した橋梗塞の1例  
安室遼之(石巻ロイヤル病院)
- 05-2 左半側空間無視に対する「気づき」を促すことで自己認識向上につながった介入  
山岡将(秋田県立循環器脳脊髄センター)
- 05-3 脳卒中片麻痺患者の上肢機能障害に対する「手のリハチーム」の取り組み報告 - 第1報 -  
大橋拓朗(あづま脳神経外科病院)
- 05-4 CI療法による麻痺手使用の促進因子に関する予備的検討 ～麻痺手使用の自己観察への取り組み方に着目したケースシリーズ研究～  
齋藤壘(一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター)
- 05-5 車椅子のタイヤ空気圧の非対称調整が直進走行効率にあたる影響 - 模擬片麻痺患者を想定したパイロットスタディー  
四家志帆(いわき市医療センター)
- 05-6 脳卒中患者のトイレ動作自立は意欲とエネルギー摂取量の相乗効果により促進される  
藤田貴昭(福島県立医科大学)

## 口述6 精神障害・発達障害

日時:2025年7月12日(土)14:00～15:00

会場:D会場

座長:小山内 啓(一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院)

- 06-1 精神科デイケア通所中の被害的思考を有する統合失調症患者への就労支援 - 就労継続支援A型の通所に向けて対処行動の獲得を図った事例 -  
鬼柳貴至(岩手県立南光病院)
- 06-2 精神科急性期病棟におけるメタ認知トレーニングの実践  
梅津雄志(東北福祉大学)
- 06-3 公共交通機関利用が億劫になった患者に対する個別の関わり～SSTを用いての自信の取り戻し～  
長沼菜摘(医療法人風心堂 小原病院)
- 06-4 協力型デジタルゲームを活用した作業療法介入が社会的交流、心理的状态に与える影響 - モンスターハンターライズを用いたケーススタディー  
伊東和哉(福島医療生協わたり病院)
- 06-5 児童発達支援にて作業機能障害に着目し多職種で支援した事例  
大山華穂(合同会社リハサポート アーチ天童)
- 06-6 早産児におけるGMOS-Rと乳幼児期の発達指数との関連性の検討  
洪間勇人(済生会 山形済生病院)

## 口述7 身体障害⑤

日時:2025年7月13日(日)9:00~10:00

会場:B会場

座長:菊地翼(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座)

- 07-1 くも膜下出血後に重症肺炎を合併し廃用性筋萎縮を呈した症例に対する回復期リハビリテーションの一例  
鈴木日向(済生会 山形済生病院)
- 07-2 人間作業モデルスクリーニングツールを用いた目標設定に基づく介入により抑うつ症状が軽減した急性期被殻出血の1事例  
菊地航平(八戸市立市民病院)
- 07-3 失敗体験による精神的疲労が食事作業に影響した1事例~食事の自立に至るまで~  
長岡秀法(医療法人篠田好生会 篠田総合病院)
- 07-4 膠芽腫の進行により右麻痺が増悪していく症例の自宅退院を目指して ~不安軽減に着目して~  
黒田朱里(山形大学医学部附属病院)
- 07-5 呼吸器疾患患者の日常生活動作における呼吸困難の変化 ~長期的な外来呼吸作業療法の影響~  
三保歩夢(市立秋田総合病院)
- 07-6 複数の合併症による長期入院中に病態に応じたリハビリテーションが有効であった微小変化型ネフローゼ症候群の一例  
飯島美月(山形市立病院済生館)

## 口述8 地域リハ

日時:2025年7月13日(日)9:00~10:00

会場:D会場

座長:西城 学(岩手リハビリテーション学院 作業療法学科)

- 08-1 通所リハビリテーションにてトライ&エラーが効果的に作用し就労に至った症例  
能登薫(川久保病院 通所リハビリテーション)
- 08-2 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスCにおける作業療法士の関わり  
寒河江春樹(新庄徳州会病院)
- 08-3 高齢者の通いの場での「元気度チェック」~市町村事業の効果と今後の課題~  
佐藤健一(一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス)
- 08-4 市町村の保健事業における作業療法士のアプローチと今後の課題  
高橋友美(一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス)
- 08-5 認知症予防事業の長期的影響に関するケーススタディ  
久米裕(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座)
- 08-6 軽度認知機能障害を有する地域在住高齢者の自動車運転の特徴について  
小玉鮎人(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座)

## 口述9 MTDLP・管理運営・他

日時:2025年7月13日(日)9:00~10:00

会場:E会場

座長:外川佑(山形県立保健医療大学)

- 09-1 頸椎損傷患者に対してMTDLPとKTバランスチャートを用いて多職種連携を促進した事例 ~曾孫とご飯を食べるために~  
浅井拓生(いわき市医療センター)
- 09-2 心大血管作業療法算定に向けた取り組みと今後の課題  
川野辺穰(秋田県立循環器・脳脊髄センター)
- 09-3 福島県士会教育部主催の研修会開催方式のアンケート調査 ~対面研修とWeb研修の比較~  
上田有美((一財)総合南東北病院)
- 09-4 令和6年7月山形県北部豪雨災害における酒田・遊佐地域でのやまがたJRAT支援報告  
辺見大剛(山形大学医学部附属病院)
- 09-5 全日本ブロック選抜車いすバスケットボール大会における東北選抜チームスタッフ帯同報告  
小田桐紅葉(弘前大学医学部附属病院)
- 09-6 コロナ禍で延期していた認知症カフェ再開に向けた取り組み -福島県作業療法士会 会津支部 活動報告-  
佐藤志保(福島県立医科大学 会津医療センター附属病院)

## 口述10 身体障害⑥

日時:2025年7月13日(日)11:30~12:30

会場:C会場

座長:今井 寛人(一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター)

- O10-1 脳血管障害により体動困難となった高度肥満患者の一事例 ~集中治療室における作業療法の有用性に着目して~  
太田龍成(医療法人雄心会 青森新都市病院)
- O10-2 重度意識障害患者に対して座位離床,温浴刺激が意識レベル改善に至った一例  
仁杉恵美子(岩手県立中央病院)
- O10-3 排尿障害を有する急性期脳卒中患者に対し反復末梢磁気刺激を併用した症例  
岡崎智史(山形市立病院済生館)
- O10-4 両側性皮質下出血を同時に発症し機能改善によって基本動作獲得まで至った症例 ~右補足運動野・左中心前回損傷に対する急性期作業療法の方針と考察~  
立石悠貴(医療法人雄心会 青森新都市病院)
- O10-5 拡散型圧力波治療(RPW)により上肢痛が改善し行動変容に繋がった症例  
藤田晃大(医療法人雄心会 青森新都市病院)
- O10-6 右片麻痺を呈した急性期脳梗塞高齢患者に対して物理療法を併用し上肢機能の改善を目指した症例  
後藤彩花(済生会 山形済生病院)

## 口述II 高次脳機能障害

日時:2025年7月13日(日)11:30~12:30

会場:D会場

座長:富村香里(湯田川温泉リハビリテーション病院)

- O11-1 若年脳卒中患者に対するロボティクスデバイスを使用したリハビリテーション介入報告  
宮川苑子(医療法人友愛会 盛岡友愛病院)
- O11-2 若年重症脳卒中患者の社会復帰に向けたリハビリテーション介入報告  
牛抱凌(医療法人友愛会 盛岡友愛病院)
- O11-3 失語症と空間認識能力低下により、スマートフォン操作能力が低下した症例～仕事と友人との交流再獲得を目指して～  
櫻庭希(一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院)
- O11-4 アテローム血栓性脳梗塞により高次脳機能障害を呈した症例 ～注意機能改善を目指して～  
高橋典寛(三友堂病院)
- O11-5 前頭葉機能障害を呈した脳卒中患者への課題指向的な介入により中期目標とした外泊が達成された事例  
内山然(社会医療法人明和会 中通りリハビリテーション病院)

## ポスター1 身体障害①

日時:2025年7月12日(土)10:30～11:30 会場:G会場

座長:塚田 徹(竹田総合病院)

- P1-1 排泄動作に着目したことで活動意欲が向上し生活リズム改善に至った事例  
後藤遥奈(医療法人財団明理会 山形ロイヤル病院)
- P1-2 脳卒中急性期より簡略化したTransfer packageを使用し調理動作の獲得に至った症例  
荒谷里美(広南病院)
- P1-3 不使用である麻痺手の参加を食事動作から促した事例  
小梁川佑李(公立置賜総合病院)
- P1-4 中大脳梗塞者の排泄自立と発症初期の日常生活活動能力との関連  
鈴木由美(山形県立保健医療大学)
- P1-5 分枝粥腫型梗塞患者において座位姿勢に着目し、食事・排泄への汎化を目指した症例  
幾島芽唯(至誠堂総合病院)
- P1-6 作業活動で離床への動機付けを図り、独居再獲得に至った症例  
矢萩澤(北村山公立病院)
- P1-7 胸椎後縦靭帯骨化症を呈した症例 ～浴槽のまたぎ動作獲得を目指して～  
加藤優依(医療法人財団明理会 山形ロイヤル病院)

## ポスター2 高次脳機能障害・地域リハ

日時:2025年7月12日(土)14:00～15:00 会場:G会場

座長:原田大河(中通リハビリテーション病院)

- P2-1 高次脳機能障害者の就労支援-企業および各施設との連携により復職と定着に至った1例-  
武田宙樹(済生会 山形済生病院)
- P2-2 早期復職を目指す症例に対するOTとしての関わり  
畠中茉悠子(鶴岡協立リハビリテーション病院)
- P2-3 山形県酒田市における住民主体の通いの場継続支援の紹介～認知症出前講座を活用して～  
山崎卓礼(介護老人保健施設シェ・モワ)
- P2-4 山形市「いきいき生活運動講座」による生活行為向上の効果 ～生活につながる介護予防事業で自分らしい地域生活継続を～  
長谷部和恵(山形さくら町病院)
- P2-5 短期集中介護予防教室において対話を通して地域での活動を再開した事例 ～介護予防モデル再構築事業の実践を通して～  
加藤緩奈(山形県立保健医療大学)
- P2-6 通所介護利用者における集団レクリエーションと学習課題の相乗効果について  
大竹絵美子(潟上地域リハビリステーション)
- P2-7 投票支援における自助具の有用性-手製と3Dプリンタ製自助具の比較を通して-  
佐藤祐樹(訪問看護ステーションあい)

### ポスター3 身体障害・発達障害

日時:2025年7月13日(日)9:00~10:00 会場:G会場

座長:曾根 稔雅(福島県立医科大学)

- P3-1 人工骨頭置換術後患者に対するThree goal modelを用いた目標指向型アプローチの効果 ~事例報告~  
猿田真理絵(医療法人清和会 奥州病院)
- P3-2 上肢痙縮に対するA型ボツリヌス毒素投与後のアフターフォローの現状と課題—上肢装具・スプリントに着目して—  
千葉聖矢(いわてリハビリテーションセンター)
- P3-3 急性期の延髄外側梗塞患者に対する磁気刺激装置を用いた摂食嚥下リハビリテーションの一例  
椎野由美(竹田総合病院)
- P3-4 当院における脳血管障害等患者の自動車運転再開可否の実態調査  
五十嵐陽子(メディカルコート八戸西病院)
- P3-5 寝たきりから主体的な生活動作獲得を目指して ~ADOCによる評価と多職種介入~  
小原明季(秋田県立循環器・脳脊髄センター)
- P3-6 身辺自立を目標とした利用児が、一人で靴下の着衣が可能となるまでの変化とOTの支援  
齋藤花奈(合同会社リハサポート アーチ鈴川)
- P3-7 超低出生体重児に対するNICU入院中からの早期リハビリテーション介入と発達支援の有用性:ケースシリーズ  
渋間勇人(済生会 山形済生病院)

### ポスター4 研究・教育・他

日時:2025年7月13日(日)11:30~12:30 会場:G会場

座長:浮田徳樹(東北福祉大学)

- P4-1 当院における維持透析患者の転倒対策に向けたSPPBの有用性について  
細谷賢広(山形徳洲会病院)
- P4-2 評価実習を通じた作業療法学生の課題価値の変化とその影響要因 ~SCATを用いた質的分析を通して~  
熊谷竜太(仙台青葉学院短期大学)
- P4-3 認定作業療法士取得に向けた当院の取り組み  
渋間勇人(済生会 山形済生病院)
- P4-4 高齢者スマートフォン講座の企画・運営を通じた学生の能力開発と意識変容  
外川佑(山形県立保健医療大学)
- P4-5 認知関連行動アセスメントと排泄動作の関連性の検討  
岩淵麻衣(一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院)
- P4-6 3県士会(県協会)間アライアンスの試み ~IKOT協議会活動報告  
藤原瀬津雄(一般社団法人岩手県作業療法士会)
- P4-7 山形県士会における自動車運転支援に関する取り組み報告~運転と地域移動支援推進委員会より~  
安野仁(山形県作業療法士会)
- P4-8 終末期の乳がん患者との関わりを通して ~ご本人の思いに着目して~  
池田美咲(日本海総合病院)